

変形性膝関節症に対する 『PRP-FD 自己血小板成分濃縮物』療法

変形性関節症は、関節疾患の中で、治療が非常に難しい病気です。ヒアルロン酸やステロイド注射や消炎鎮痛剤の服用で、なんとか痛みを抑え動かすようにできますが、最終的に人工関節の手術にいたるケースが多いです。

「PRP-FD 自己血小板成分濃縮物療法」は成長因子を多く含む血小板成分のみを抽出し、膝関節に注射する新規治療法です。米国での臨床試験で優れた安全性と有効性が報告されています。自己の血小板成分のためアレルギー反応等の副作用はありません。自己の修復能力（自己治癒力）を賦活化する治療といえます。

【適応】 変形性膝関節症・慢性腱炎

※この治療の適応にならない場合もございます

【方法】 血液50mlを採血し、採血日から2週間後以降に関節腔内に注射で戻します

治療後は特に大きな制限はありません

「厚生労働省許可の特定細胞加工物製造施設（施設番号: FA3160006）」にて作製します

【担当医】 二木康夫医師 慶應義塾大学病院 整形外科 准教授

膝関節専門医による特別診療となります

【費用】 治療相談；10,000円

採血・製剤作製；75,000円（片膝）

注入；200,000円（片膝）

消費税別、クレジットカード使用できます

医療法人社団友仁会 元赤坂胃腸科クリニック

（前田病院同ビル8階）

☎ 03-3408-5575

受付時間；月～金曜日 8：30～17：00

◆二木先生の診療は1回/月となります

お気軽にお問合せください

